

としょかんだより



2023.10月 No.3 (高学年)

～読書週間おすすめの本～



いま考える「戦争」



いま、世界で何が起こっているのか。どうして戦争は起こるのか。戦争は、なぜいけないのか。本を読んで考えてみませんか？

	タイトル	作 者	しゃっぽんしゃ 出版社	せいぎゅうきこう 請求記号
1	せんそうがやってきた日	ニコラ・デイビス／作	すずきしゅっぱん 鈴木出版	E コ
2	せんそうしない	たにかわしゅんたろう／文	こうだんしゃ 講談社	E イ
3	せんそうがおわるまで、あと2分	ジャック・ゴールドSTEIN／ 作	ごうどうしゅっぱん 合同出版	E コ
4	なんで、せんそうおわらないの？	NHK ネットワーク報道部／編	せいししゃ 青志社	319 ナ
5	ねら 狙われた国と地域 ウクライナ	いなば しげかつ 稲葉 茂勝／作	あすなろ しょうぼう 書房	319 イ I
6	三つの願い	デボラ・エリス／作	さ・え・ら しょうぼう 書房	227 イ
7	父さんはどうしてヒトラーに投票したの？	ディディエ・デニクス／文	かいほうしゅっぱんしゃ 解放出版社	234 デ
8	ポールと小鳥	あさくら ゆう 朝倉 勇／作	どうわや 童話屋	913 ア
9	すいへいせん 水平線のかなたに しんじゅわん 真珠湾とヒロシマ	ロイス・ローリー／作	こうだんしゃ 講談社	933 ロ



「友だちになれたら、きっと。イスラエルとパレスチナの少女の文通」^{ぶんつう}

ガリト・フィンク／作、鈴木出版（227フ）^{すずきしゅっぱん}

イスラエルとパレスチナ。今ニュースで報道されている国々ですが、この本が出版されたのは2007年。この二つの国の問題は、さらにそのはるか昔からあります。そして今も、解決せず最悪の状況を迎えています。心を痛める映像がテレビから流れて、つらい思いをしている人もいるかもしれませんが、本を通じて、今そこに生きている人たちについて考えてみませんか？

